

裏千家十五代家元 千玄室氏 ご逝去に対する小松市長コメント

本市名誉市民であり、裏千家十五代家元 千玄室氏のご逝去の報に接し、深い悲しみと衷心よりの哀悼の意を表します。

千氏は、裏千家四代・仙叟宗室が加賀前田家三代・前田利常公の庇護を受け、小松に居を構え茶道を広められた歴史的なご縁を大切にされました。平成 9 年の仙叟宗室没後 300 年に際しては、自ら設計された茶室を寄贈され、市民が広く茶の心に触れる機会を創出するとともに、本市の文化振興に多大なご貢献を賜りました。

また、国内外における茶道の普及、日本文化の発信、平和活動に尽力され、そのご功績は世界的にも高く評価されております。茶道研修機関や組織の整備を進め、国や世代を超えて茶の道を伝える姿勢は、多くの人々に感動と学びを与えてまいりました。

千氏の温かなお人柄と高邁な理念、そして小松市への深い愛情は、私たち市民の誇りであり、これからも永く語り継がれることでしょう。

謹んで千玄室氏のご冥福をお祈り申し上げるとともに、ご遺族の皆様にご心よりお悔やみを申し上げます。

令和 7 年 8 月 14 日

小松市長 宮橋 勝栄